

# 卒業おめでとう!

## 瓊浦高等学校 第六十九回卒業証書授与式 挙行!!

# 瓊浦

第2号

平成30年3月1日発行

瓊浦高等学校

住所 長崎市伊良林 2丁目13番4号

電話 826-1261(代)

FAX 820-5245

今年もこの季節がやってきた。3年間の高校生活を終え、第69回生281名がこの学び舎を巣立っていく特別な日。大きく成長して旅立つ彼らを見ると、嬉しくもあり、寂しくもあり、何か優しい気持ちになる。

今日を以て、この281名は瓊浦高校を卒業する。しかし、卒業はゴールではない。新たな世界へのスタートだ。これからの長い人生、誰しものが幾つもの壁にぶつかることだろう。そんな時に、ふと高校生活を思いだして欲しい。3年間で得たものは、きっとみんなの力になってくれることだろう。

卒業おめでとう。  
皆の将来が光り輝いたものになることを、大いに期待している。

人生の目標進む君へ 後ずさりなんか出来ないリレ  
泣いて返ったら許さねー! 踏ん張れ! 頑張れ! まだ知らない地で  
人生の「ページ」刻む旅路『不安』と『孤独』で少し寂しい  
でもそれは僕も同じだから 笑顔で送り出すと決めたから

Green 『旅立ち』

### 【受賞者一覧】

- 海貝野々花 (龍普3A) 校長賞
- 山本 竜輔 (龍普3A)
- 柿平 亜美 (情3A)
- 緒方 航 (龍機3A)
- 島谷 景介 (龍機3A) (答辞)
- 吉村 淳樹 (龍機3A) 私学賞
- 御厨 深人 (普3D) 産業教育振興中央会賞
- 森 茉緒 (情3A) 商業教育成績優秀者表彰
- 内野 栄 (機3B) 北 愛実 (情3A) 県高体連表彰
- 村本 竜馬 (普3C) 県高体連卒業生顕彰
- 尾崎 聖 (龍普3B) 県高文連卒業生顕彰
- 錦織 晴朝 (龍普3B)

- 松田 雄志 (龍普3A) 全国高校生新聞表彰
- 淵上 翔太 (龍普3B) 男子水泳部
- 荒木 友輔 (龍下3A) 荒木 龍樹 (龍機3A)
- 山口 吉生・志水 富樹 (機3C) 吉野谷 凌 (機3C) 横山 遼 (機3D)
- 特別功労賞
- 男子バドミントン部 平成二十九年度第十八回国民体育大会 愛媛県バドミントン競技 第三位 辻 凌也 (龍普3B) 村本 竜馬 (普3C) 滝口 友士 (龍普2A)
- 個人 平成二十九年度第四十五回全国高等学校選抜バドミントン大会 個人シングルス 第三位 村本 竜馬 (普3C)
- 陸上競技部 平成二十九年度第十七回国民体育大会 愛媛県陸上競技少年B3000m 優勝 林田 洋翔 (情1A)
- 男子バドミントン部 平成二十九年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 団体 第五位 眞方 佑介 (龍普3B) 山田 麟 (普2C) 中島 巧 (龍普1A) 町 祥英 (普1B) 杉本 一樹 (普1C)
- 男子ハンドボール部 平成二十九年度全九州高等学校総合体育大会 ハンドボール競技 第三位 尾崎 聖・太田黒翔馬・田代 健流・小林 亮・恵村 航平 (龍普3B) 芳野 響 (普3C) 戸村啓太郎 (機3B) 山下 龍登 (機3D) 阿部 謙友 (龍普2A) 酒井 唯人・林 聖也・藤田 悠仁 (普2C) 山口 太陽 (機2B) 加藤 拓 (普1B)
- 特別奨励賞 西田祐一朗 (龍普3B) 高橋 亜優 (普3C)

連日の寒さとは対照的に、毎日熱戦を繰り広げている平昌五輪。ノルディックスキージャンプ女子個人ノーマルヒルで、日本の高梨沙羅選手が銅メダルを獲得した。

歴代最多タイのW杯五十三勝という大記録を持つ彼女にとって、今シーズンは苦しいシーズンだった。自身の不調、怪我、外国人選手の台頭もあり、デビュー以来初めてのW杯未勝利という中で迎えた五輪本番。

「最後は自分を信じて飛べた」十五才でW杯初優勝。同種目が初実施されたソチ五輪では第四位。あどけない少女だった彼女は、いつの間にか立派な女性へと変貌を遂げ、競技力はもちろんのこと、精神的にも大きな成長を遂げた姿を私たちに見せてくれた。銅メダルを獲得した時の彼女のインタビューが印象に残った。

「ソチ五輪からの四年間、ずっと悔しい思いを持ってやってきたつもりですけど、自分はまだ金メダルを取る器ではないということがわかりました。やはりまだまだ競技者として勉強しないとけない部分がたくさんある。」

金メダルを目標とし、厳しい練習に耐えてきた四年間、周からの期待も大きく、心の中では、悔しい気持ちも大きかったに違いない。けれども、そんな感情はおもてに出さず、すがすがしい笑顔で自身の「器」について語るその姿からは、十代の頃はまた違った強さ、一流の競技者としての「品格」のようなものが見て取れた。

「品格」という言葉が流行語となったのは、今から十二年前の二〇〇六年。奇しくも、トリノ五輪で荒川静香選手が金メダルを手にした年である。「品格」とは、「その人や物に感じられる気高さや上品さのこと」。日本チームの健闘を称え、共に喜ぶ高梨選手の姿には、そうした品格が感じられた。諦めない強さ。自分を信じる強さ。そして他者を敬う強さ……。

インタビューの最後に、「メダルがもたらしてくれたものは?」という質問を受けた高梨選手の回答は、「次に向けてのモチベーション」。強さと品格を兼ね備えた高梨選手が、四年後北京の地で金メダルを手にする姿が今から待ち遠しい。

第三学年主任

椎名 研朗 先生

第六十九回生の皆さん、卒業おめでとうございませう。瓊浦高校での三年間はいかがだったでしょうか。皆さんの中には、日々部活動に励み毎日が充実していた人、あるいは、毎日をただ何となく過ごさずと過ごし不完全燃焼だったと感じている人など、百人いれば百通りの感じ方があると思います。しかしながら、これまでの月日を自分なりに考えて行動した結果この今があるのだと思えば、これまでの三年間の経験はどれも無駄なことではありませぬ。人生は長いのです。充実した感覚を得た人はそれをさらに発展させ、また、後悔をしている人はその思いをもとに次は頑張るぞと意気込み、一步一步と前に進んでいってください。また、皆さんのこれまでの歩みの背後には様々な人達が関わってくれていたことも忘れてはいけません。皆さんの親、兄弟姉妹、指導者や周囲の仲間など関わるすべての人達にこれから感謝の心を表していくことが大切だと思ひます。まずは周囲に優しく明るくそして前向きに生きていくことがその一歩だと信じこれからの人生を大切に過ごしてください。皆さんの前途がこれからさらに輝きを放つことを心より願ひ祝福の言葉といたします。

龍馬コース普通科A組  
担任

正木佳二郎 先生

卒業おめでとうございませう。

長嶋茂雄さんの言葉に『本気ですれば大抵のことはできる。本気ですれば何でもおもしろい。本気ですれば誰かが助けてくれる。』とあります。何かに本気になって取り組んでいる人は、たとえ良い結果が得られ

普通科B・C組

副担任

梅木 忠 先生

人生は人間との出会いの連続だ。人間関係では、ややこしいことや、煩わしいことがあるが、これをむやみに避けない方がいい。生きがいは人との関わりの中にしか見つけられないから。

普通科C組

担任

田中 天馬 先生

ご卒業おめでとうございませう。皆さんは、これからそれぞれの道に進んでいきます。「オレはこの道」「オマエはその道」、どっちが上かなんてどうでもいい！自分なりに一生懸命やれたらそれはもう立派な人生です。これからの人生、行く先々で自分を変える出来事が沢山あるでしょう。自分の中で変わっていく部分と、変わらない部分。どちらも大切にしてください。数年後、君たちの立派な姿を見ることができたら幸いです。僕も立派なおジサンになって待っています。

情報ビジネス科A組

副担任

林 貴昭 先生

「ご卒業おめでとうございませう。私が大切にしている「ことわざ」を送ります。『天は自ら助くる者を助く』」

\*読み「てんはみずからたすくるものをたすく」

簡単に説明すると、神様を自分の味方にするためには、地道にコツコツと努力をしないといけないという意味です。運を味方に付ける人、運を味方に付けきれない人の違いです。神様を味方にするためには行動あるのみです。皆さんの今後の幸せを心から願っています。

龍馬コース機械科A組

担任

森 貴浩 先生

ご卒業おめでとうございませう。進学・就職どちらでも新しい環境に飛び込むこととなります。自分がなかなかうまくいかないとき、ついついそういつた周りの環境のせいにしてしまうこともあると思います。それはとても簡単なことです。しかし、一度立ち止まって、自分に何か問題があるのではないかと考えてみてください。その謙虚さが必ず環境をも変えていく大きな力になると思ひます。何事にも謙虚に。大きく成長した姿を見るのが今から楽しみです。

機械科B組

副担任

岩原 数憲 先生

「人生は挑まなければ、応えてくれない。うつろに叩けばうつろにしか応えない。」これは作家城山三郎さんのことばです。人生、挑まなければ限界にもつきあたらぬ。おのれの限界に歯ざしりすることもない。悔しい思いでそこを乗り越えようと、きつとこれまでより見晴らしのよい場所に立てる。その時、苦勞してたどった上り坂が平坦に見える。これからの人生をチャレンジ精神をもって送ってください。

機械科C組

担任

谷口 智章 先生

卒業生へ  
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。ここ瓊浦高校でたくさんのことを学び、素晴らしい仲間と出会い過ごした日々は、皆さんを大きく成長させたことと思ひます。そして、皆さんは高校を卒業し、「大人」への第一歩を踏み出しました。今まで育ててもらったことに感謝し、親御さんに精一杯の「ありがとう」を言ひませう。一番の親孝行になります。では、まず私から、多くの思い出をくれた皆さんへ。「ありがとう」

機械科C組

副担任

大坪 雅史 先生

みなさんご卒業おめでとうございませう。みなさんはこれからそれぞれの進路に進む

あつという間だったような

第69回生 卒業証書授与式

遂に、この日を迎えた...

この学び舎とも 今日でお別れ

仲間たちとも 今日でお別れ

の別れではない

に この場所は、

...

たいことがある

ームルーム

なくても、経験が財産となり自分自身の成長につながります。勉強や仕事を本気になって取り組んでください。そして、輝かしい未来を切り開いてください。いつまでも応援しています。

龍馬コース普通科A組

副担任

佐藤 一司 先生

皆さんご卒業おめでとうございます。

これから、皆さんがそれぞれ進んでいく世界は、皆さんをひとりの大人として迎えてくれることでしょう。大人になるということは利己と利他のバランスをとり、自らの言動に責任を持つことができるようになること。自立し、そして自律ができる大人として成長した姿を、いつかまた見せに来て下さい。待っています。

龍馬コース普通科B組

担任

本馬 晴子 先生

第六十九回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

これからみなさんは、新たな道へと踏み出します。きつといろいろな出来事が待っています。いいことも悪いことも。思うようにいかないときは、シンプルに考えてみましょう。「人生に必要なのは、勇気と、想像力と、そして少しの金だけだ」(『ライムライト』) 自らの可能性を信じて、挑戦することを恐れないうでください。そして、喜びも悲しみもすべてを糧として、力強く未来を切り開いてください。願わくは、みなさんの前途に幸多からんことを。

長かったような  
そんな3年間  
平成30年3月1日

毎日のように通った  
毎日のように語った

ただし、それは永遠  
いつまでも変わらず  
人たちは存り続ける

卒業を迎える今だからこそ  
語りたことがある、伝え

先生からの 最後のホ

わけですが、今から先、いろんな困難や壁にぶつかることがあると思います。そのときは、自分が成長するために神様が与えてくれた試練だと思つて、逃げずにぶつかつていつて欲しいと思います。その試練を乗り越えたとき、必ず自分自身が成長したことを実感できると思います。成長したみなさんに再会できるのを楽しみにしています。

機械科D組

担任

黒川 潤也 先生

龍馬コース機械科A組

副担任

山口 光夫 先生

卒業おめでとうございます。

新たな一歩を踏み出す日、今後を考え自分なりの目標に向かって頑張ってください。あなたがこの学校で学んだことは、今後の人生に役立つ時が来ると思います。これから感謝の気持ちを忘れずに就職、進学に努力してください。

情報ビジネス科A組

担任

中別府芳郎 先生

第六十九回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今後は進学・就職とそれぞれの進路で活躍されることと思います。十代で取り組んだことは、二十代で花開くと言います。世に出る中で一番エネルギーが豊富な君たちには、夢に向かってリスクを怖れず挑戦して欲しいと思います。最後に私事ではありますが、今年で三十九歳になります。39 = THANK YOU。感謝の一年にしたいと思います。貴重な三年間をありがとうございました。

機械科B組

担任

松原 美和 先生

卒業おめでとうございます。

「Graduation isn't the end of a journey — it is the beginning of a new adventure.」 人生の一つの段階が終わり、新たな一歩を踏み出す時がきました。新しい生活への期待と同時に不安も抱えていることと思います。その不安に臆することなく、自分の進むべき道を求めながら人生を切り開いて下さい。これからの活躍を期待しています。

機械科D組

副担任

荒木 康正 先生

『前程万里』

「これから先の道のり(前程)が非常に長く遠いこと(万里)」。皆さんの前途に大きな可能性が広がっていること、前途が明るいことという意味です。期待される人物(HOPE)として入学し、夢や目標を達成するための準備ができた三年間。次はその期待を恩返しする(HEROになる)時。皆さんの活躍をこころから信じ、応援したいと思います。瓊浦高校の卒業生として胸を張れ！頑張れ！六十九回生！

瓊浦高校を卒業し、それぞれ別々の道に進むことになる六十九回生二八一人。一足早く就職し、社会人として働く人もいれば、より専門的な勉強をするために大学・専門学校への進学をする人など様々だが、共通して言えるのは、これまで以上に厳しい道に進んでいくということ。

そんな中、特徴的な道を選択した二人の卒業生に注目し、取材を行った。この二人に限らず、二八一人全員がそれぞれの道で活躍してくれることを大いに期待したい。

# 新たなステージへ!!

# 六十九回生

# それぞれの道

「夢はアイドル声優!!」

錦織 晴朝さん (龍普3B)

高校生活三年間で、文化活動に熱心に取り組んだ生徒を表彰する、県高文連卒業生顕彰に今年度選出されたのが錦織さん。錦織さんは、演劇部に所属し、三年間県大会の舞台に役者として出場し、三年時には、瓊浦高校で実際にあった出来事を演劇にした『ウドリア』で主演を務め、舞台上での存在感を大いに発揮した。また、将棋同好会の一員としても活躍し、三年連続で団体戦全国大会出場を果たす原動力となった。



錦織さんは、高校三年間を振り返って「何となくで入学した瓊浦高校だったけど、とても楽しい三年間でした。顧問の先生に誘われて入った演劇部では、九州大会の舞台に立つこともできて、とても良い経験になりました。将棋でも三年間全国大会に出場できたのは、とても良い思い出です。いろんな先生にお世話になって、本当

に瓊浦に入って良かったと思える三年間でした」と語った。まさに、色々なことに挑戦し、色々なことを得た三年間ではなかったかと思う。

そんな錦織さんが選んだ進路は『声優』。「小学生の頃からアニメが好きで、自分もアニメの世界に入りたいと思うようなイタイ子どもでした(笑)。それでもアニメに携わりたいという思いは強く、せめて声だけでもという気持ちで、声優を目指すようになり、先生方からは当初、反対されたりもしましたが、自分の選んだ道なので、最後

錦織さんは、高校三年間を振り返って「何となくで入学した瓊浦高校だったけど、とても楽しい三年間でした。顧問の先生に誘われて入った演劇部では、九州大会の舞台に立つこともできて、とても良い経験になりました。将棋でも三年間全国大会に出場できたのは、とても良い思い出です。いろんな先生にお世話になって、本当

に瓊浦に入って良かったと思える三年間でした」と語った。まさに、色々なことに挑戦し、色々なことを得た三年間ではなかったかと思う。

そんな錦織さんが選んだ進路は『声優』。「小学生の頃からアニメが好きで、自分もアニメの世界に入りたいと思うようなイタイ子どもでした(笑)。それでもアニメに携わりたいという思いは強く、せめて声だけでもという気持ちで、声優を目指すようになり、先生方からは当初、反対されたりもしましたが、自分の選んだ道なので、最後

まで一生懸命頑張りたいと思います」と声優への熱い思いを語った錦織さん。

夢を叶える第一歩として、代々木アニメーション学院福岡校へ進学する。将来の目標を聞くと、「歌も歌える声優になりたい。アニメを知らない人でも知っているような、有名な声優になりたい。」とはつきりと夢を口にしている錦織さん。

彼女の進む道は決して簡単なものではない。それでも彼女は、幼い頃から夢の実現と、瓊浦で培ったバイタリティーを糧にまっすぐに進んで行くに違いない。いつの日か、テレビ画面から彼女の声が聞こえてくるのを楽しみに待っているよう。

「日中友好の架け橋へ!!」

松山 未来くん (情3A)

昨年九月、華僑ではない日本人男性では、初の変面師としてデビューを果たした松山くん。変面とは、中国四川省の伝統芸能『川劇』で披露される技の一つで、軽快なリズムの曲に合わせて踊りながら、顔に付けた色鮮やかな仮面を次々と変化させていくというものである。仮面を変化させる仕掛けは門外不出とされており、限られた人だけが伝承できる非常に貴重な技術だそう。祝い事やイベントの際に披露さ



面に興味を持ったきっかけは、「ランタンフェスティバルで見たのが最初。父親が師匠の父親と知り合いだったこともあり、誘いを受けた。自分も会場で見たいと思ったので、やってみようと思った」と語る。また、変面の魅力は、「やはり『面を変える所』。その面に合った動きをするところが面白い。通常、中国では専門の学校に通って、伝統の動きを習得していくのだけれど、自分たちはそういう師匠がいないので、自分たちで動きを考え、演技を構成し、創り上げていくところも魅力的。これまでやってきたエイサーの動きなども役に立っている。」と語った。

最後に松山くんは、「これからは長崎のランタンフェスティバルだけでなく、色々なイベントに出て自分の演技を披露したい。そして、より多くの人に『変面』を知ってもらいたい」と夢を語ってくれた。

四月からは、長崎孔子廟の職員として働きながら変面の技を磨くという松山くん。今後、様々な機会に彼の姿を目にする機会があるだろう。変面を通じて、長崎・中国の文化を外に発信していくという重要な役割を担う松山君。『日中友好の架け橋』としての今後の彼の活躍に大いに期待したい。

れることが多く、長崎のランタンフェスティバルでは、毎年人気の出し物の一つとして多くの観客を魅了している。

そんな変面師として、社会人の第一歩を踏み出す松山くん。松山くんが変

## 合格体験記

佐賀大学理工学部  
機械システム工学科 合格

渡辺 圭偉 (龍機3A)



大学入試においては、時間の使い方や友だちとの協力、先生方の手厚いご指導が肝要だったと思います。まず、先生に問題集を制作していただき、それに挑戦しました。分からない問題は先生に解き方を教わり、解けるようになるまで何度も何度も解き直しました。ある程度解き慣れたら、友だちと問題を出し合ったり、先生にテスト形式の問題を作ってもらったたりしました。実際に試験を意識し、公式を書いて問題を解いたり、時間を計ったりもしました。おかげでモチベーションを高く保ちつつ勉強に励むことができました。家庭学習だけでなく、登下校の時間や休み時間、バスの待ち時間など、少しの時間にも勉強を重ねました。また、土日は図書館で小論文の本を探し、書き方や文の型などを学習し、実際に小論文を書き、添削指導を受けました。

これらの努力の甲斐あって、私は佐賀大学理工学部合格することができました。友だちや先生方には感謝の気持ちで一杯です。後輩の皆さんも、早い段階から準備に取りかかり、人との協力を念頭に置いて進路に向き合ってほしいと思います。

三年生が卒業を迎え、四月には新たな新入生が瓊浦高校に入ってくる。出会いがあれば別れがある、それは世の常である。そういう意味では、高校の部活動というのは、プロスポーツ以上に難しい部分があり、毎年世代交代が必ず行われ、毎年違ったチーム作りを迫られる。

そんな中、今後瓊浦の名を背負って立つであろう、次世代のエースたちに注目し、インタビューを行った。こうした選手たちが中心となり、県大会はもちろん、全国の舞台で瓊浦の名をさらに轟かせてくれることである。

**陸上競技部 長距離**

**林田 洋翔くん (情1A)**

云わずと知れた、陸上界の「十年に一人の逸材」。これまで各世代別で、全国一位の活躍を残しており、その走りには、日本の陸上界が注目している。まさに次世代のスターである。本校入学後も、一五〇〇m、五〇〇〇mの二種目でIH出場。一五〇〇mでは一年生で最上位に入り入賞するなど大活躍した。その後行われた国体では、少年B三〇〇〇mにおいて優勝。昨年に続く二連覇という前人未踏の大記録を達成した。

**Q 今年一年間を振り返ってどうでしたか？**

「今年の前半は、比較的思い通りの走りが出てきたと思う。IHの一五〇〇m決勝では、自分の持っている力を発揮できたと思う。来年の二種目制覇という目標に向け、良い経験ができた。国体でも、二連覇がかかるプレッシャーの中、自分らしいレースができたと思う。来年は五〇〇〇mで優勝できるように頑張りたい。」

**Q 駅伝では惜しくも全国大会出場を逃してしまいましたが、そのことについてはどう思っていますか？**

「さっきも言ったように、年度の後半は思うように走れませんでした。県高



**次世代の星たち**

力強く大きな目標を掲げてくれた林田くん。次年度は数々の場面で、その活躍ぶりを目にするようになるだろう。それと同時に、瓊浦陸上部が、都大路の大舞台で好成績を残していることに大いに期待したい。

「自分の良い所は、負けず嫌いな所だと思います。練習でも試合でもそういう面が発揮され、良い結果を残すことが出来ると思います。逆に課題は、調子の差がはつきり出てしまうという所です。今後は、安定して良いときの走りが出て来るよう、体調面のケア、メンタル面の成長も含め、取り組んでいくべき課題だと思います。」

**Q 次年度に向けての目標を教えてください。**

「まずはIHで一五〇〇m、五〇〇〇mの二種目で入賞すること。できれば優勝、そこに絡んでいきたいです。そして、国体三連覇。今年は一五〇〇mになるので、厳しいレースになると思いますが、頑張りたいです。そして何より、最大の目標は都大路（高校駅伝の全国大会）出場です。自分がエースとしてチームを引っ張り、全国の舞台で襷を繋ぎたいと思います。」

校駅伝では、一区という大事な区間を任せてもらいながら、区間三位という結果に終わり、チームに勢いを付けることができませんでした。自分がブレーキとなってしまい、チームに申し訳ないという気持ちです。来年は同じ一区で、二位以下に大差をつけての区間賞の走りをしたいです。」

**Q 自分の長所・課題はどのようなところだと思いますか？**

「自分の良い所は、負けず嫌いな所だと思います。練習でも試合でもそういう面が発揮され、良い結果を残すことが出来ると思います。逆に課題は、調子の差がはつきり出てしまうという所です。今後は、安定して良いときの走りが出て来るよう、体調面のケア、メンタル面の成長も含め、取り組んでいくべき課題だと思います。」

# 準備はいいぞ

## 次の主役は

**男子バドミントン部**

**町 祥英くん (普1B)**

近年、長崎を飛び出し、全国の舞台で活躍を続ける男子バドミントン部。昨年は国体で三位入賞を果たすなど、瓊浦バドミントン部の歴史に、また新たな名を刻んだ一年であった。そんな男子バドミントン部の中で、年代別の日本代表にも選ばれるスーパースター、それが町くん。村本、辻という二人の大エースが卒業を迎え、新体制を迎える部内において、今後彼の存在はチームにとって、欠かせないものになるはずだ。

**Q 今年一年間を振り返ってどうでしたか？**

「個人として、ほとんど結果を残すことができませんでした。まだまだ自分が力不足だということを痛感させられた一年でした。その中で、偉大な先輩たちと一緒に戦えたことは、とても良い経験となりました。自分より遥かに強い先輩たちのプレーを身近で感じることで、凄く勉強になりました。」

**Q 三年生が引退し、新チームの状態はどうですか？**

「まだ自分がチームに貢献できていないと思います。改めて、自分には課題がたくさんあると思います。大事な試合で力を出せないことも多いので、もっと成長して、チームの力になりたいと考えています。」

**Q 自分の長所・短所はどこだと思いますか？**

「自分の長所は『努力できる』と外が手を抜いているというわけではないですが、自分は厳しい練習時においても、だれよりも一生懸命に練習することができていると思います。短所というか課題は、ショットの精度を上げること。そして、ショットのバリエーションを増やすことです。」

**Q 次年度の目標を教えてください。**

「チームの柱になれるよう、まずはしっかりと実力をつけたいと思います。全国で勝つというのはなかなか難しい部分があります。ただそんな中で、まずは団体戦で先輩たちの残した成績を超える（IHベスト4）ことを目標に頑張りたいです。自分は、第一シングルの任されることが多いので、そこでチームに勢いをつけ、成績的にも精神的にも勝利に貢献できる選手になりたいと思います。」



偉大な先輩達たちを超えたいという町くん。彼が先輩たちを超え、更なる成長を遂げたとき、それは瓊浦バドミントン部が、また新たな歴史を作る時なのかもしれない。町くんを含め、男子バドミントン部の更なる飛躍に期待したい。

**長崎県立大学 経営学部経営学科 合格**

**森 茉緒 (情3A)**



先生になりたい。そう思ったのは、二年生で学んだ専門科目に面白さを感じたのがきっかけです。また、生徒会活動を通して、先生方が生徒一人ひとりに真剣に向き合う姿を間近で見ることが、私はますます学校の先生という職業に憧れを持つようになりました。

将来へ繋がる大学へ合格することは、多くの資格を取得していることとがとても大事だと常に担任の先生に言われていたので、日商簿記二級の合格を志し、放課後や休日にも勉強し続け、三年生の時に合格することができました。その後、小論文合宿や学習合宿に参加し、入試で必須の能力を伸ばす努力をたくさんしました。その結果、第一志望であった長崎県立大学経営学部合格することができました。これまでの努力が報われた瞬間でした。高校の進路決定は将来の数十年間を決めてしまうことにもなるので、熟考して取り組む大切さを実感しました。



男子(6)  
だけじゃ  
ない!!

# 女子バドミントン部大躍進!!



昨年度は十数年ぶりに長崎地区の新人戦で三位入賞を果たし、勢いに乗りたいところでしたが、それ以外の大会では思うような結果が出せませんでした。今年度も、高総体、地区新人戦においては、団体戦で早々に王者と対戦し、なすすべ無く敗退。そこから、瓊浦で長く指導にあたられていた田中貞夫先生のご助力のもと、部員各々が一生懸命、悔しさをバネに己を磨き続けました。そんな中で迎えたのが県新人戦です。

三年生引退後の瓊浦女子の部員数は、二年生二人、一年生三人の計五人です。バドミントンの団体戦に出場するための必要人数は五人。つまり、私たちのチームは一人も欠けることはできない、全員がメンバーと

して出なければいけないという状況でした。他の高校ではほとんど見られないことです。

二回戦の相手は第三シードの佐世保北高校でした。第五試合のファイナルセットのデュースにまでもつれる展開の末、軍配は瓊浦に。その瞬間、まだベスト16でしかないのに、感極まってしまいました。

その後も勝ち続け、最終的に激戦区長崎県において、瓊浦女子が数十年ぶりの県第三位という結果に。あの時を思い出せば今でさえ、絵空事のように感じてしまいます。対戦した相手は、地力では互角か、相手の方が上とも思えるようなチームばかりでした。ですがこの結果は、部員五人が誰一人として音を上げず練習に取り組み、自分の出せる以上の力を出し切ってくれたからこそ為し得たものだと思います。この大会、誰か一人だけが頑張ったわけではありません。全員が MVP です。個の力、集団の力のどちらにおいても素晴らしいものを見せてくれました。誰が欠けても、この結果はありえなかつたと言えます。

ここ何年もの間、瓊浦女子は、「団体戦は一回戦負けで当たり前、一回くらい勝てたらいいね」といった状態で、高みを目指した勝負とは無縁でした。時には人数が足りず大会に出場できないことも。そのチームが、こうして長崎の強豪校と肩を並べ、しのぎを削っている。そのことを、私は誇らしく思います。

これから瓊浦女子は「男子の方と違つて弱小なチーム」から「県ベスト4のチーム」として認識を改められるでしょう。その中でいかに前進し続けることができるかが大切になつてきます。宮崎県での大会に参加するなど、貴重な経験も増えましたがまだまだ課題は山積みです。彼女たちのこれからの頑張りに大いに期待してください。瓊浦バドミントンは男子だけじゃない。女子もやるんだ! という気概をもって、日々邁進していきたいです。

(文責 田中天馬)

これから瓊浦女子は「男子の方と違つて弱小なチーム」から「県ベスト4のチーム」として認識を改められるでしょう。その中でいかに前進し続けることができるかが大切になつてきます。宮崎県での大会に参加するなど、貴重な経験も増えましたがまだまだ課題は山積みです。彼女たちのこれからの頑張りに大いに期待してください。瓊浦バドミントンは男子だけじゃない。女子もやるんだ! という気概をもって、日々邁進していきたいです。



## 第6代校長

## 平山 進先生ご逝去



去る1月1日、瓊浦高等学校第6代校長である平山進先生が逝去されました。

先生は、昭和26年3月に長崎大学学芸学部をご卒業後、本校社会科教諭として奉職され、平成7年11月、学園創立70周年記念事業を掉尾に、平成8年3月にご勇退になりました。

先生は43年間本校一筋のご勤務で、その間のご功績は枚挙に暇がございません。御礼の意味を込めてその幾つかをひもといてみます。

女の都グラウンド、校内グラウンド、田手原グラウンドの造成をはじめ、管理棟、3年生棟、2年生棟、3層の総合体育館、A教室棟建設など、現在の瓊浦高校の基盤構築に携わられました。

先生のご他界は、瓊浦高校にとりましては大木を失ったような大変な痛手であります。先生との出会い、幾百・幾千の出来事が思い出され、先生の温かいまなざし、微笑みのあふれるお姿、明るいお声が胸中を去来いたしております。今更ながら、人生のはかなさを感じずるにあまりある悲しみでございます。

ミスター瓊浦、平山進先生安らかに。

長い間、ありがとうございました。

### 平成30年度1学期行事予定

4月	7日	9日	10日	11日	12日	16日	17日	18日	19日	20日	27日	30日	5月	1日	2日	8日	12日	15日	21日	24日	31日	6月	1日	2日	6日	11日	18日	19日	21日	25日	26日	29日	7月	4日	7日	10日	14日	17日	18日	19日
	始業式・新任式 入学式・対面式 PTA入会式	部活動紹介	勤労体験学習③	宿泊研修①(13日)	第4回進路模試③	避難訓練	第1回実力考查 委員任命式	面談週間(24日)	身体測定	部活動編成	歓迎遠足予備日 振替休日	振替休日	振替休日	振替休日	第5回進路模試③	PTA総会	進路保護者会	中間考查(15日)	薬物講話	高総体特別時間割 (31日)	高総体推戴式	振替休日	振替休日	振替休日	振替休日	第2回実力考查③	創立記念集会	進路ガイダンス③	AED講習①	創立記念日(休校)	期末考查(29日)	性教育	インターハイ壮行会 第1回学校見学会	生徒総会	夏季学習合宿 (16日)	進路講座 校内競技大会	終業式			